



# おうばいとうり 桜梅桃李

～あなたと共に歩いていきたい～

## 【三芳町】 林伊佐雄町長よりメッセージ

2021年4月1日から越谷市、三芳町、本庄市、行田市でパートナーシップ宣誓制度がスタートしました。三芳町の制度導入を主導された林伊佐雄（はやし・いさお）町長からメッセージをお寄せ頂きましたので、ご紹介させていただきます。

三芳町は、一人ひとりが互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、支え合いながら、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる共生社会の実現を目指し、あいサポート運動※や手話言語条例の制定、マレーシアの共生社会ホストタウン登録等様々な取り組みをしてまいりました。

その取り組みの一つとして、令和3年4月1日から「パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。この制度はパートナーシップの関係にある2人が宣誓し、町が宣誓した事実を証明するパートナーシップ宣誓書受理証を交付するものです。2人がパートナーであるという事実を対外的に証明することで、安心した生活を送る一助になれば幸いです。

また、三芳町は性的少数者支援の先進国であるオランダ王国のホストタウンとしても登録されており、オリンピックだけでなく、

「LGBT」の状況改善についても交流をしています。先日、オランダ王国大使館に訪問した際のお土産にした亀屋さんのレインボー和菓子は駐日大使に大変好評でした。

今後もオランダ王国の先進的な事例を取り入れるべく、交流を図りながら大使館のLGBT担当官による講演会を実施するなど価値観や考え方なども学ばなければいけないと考えています。



(ペーター在日オランダ大使と林町長)

※あいサポート運動

障がいがある人もない人も暮らしやすい『地域社会（共生社会）』を一緒につくっていく運動。

# SAITAMA RAINBOW PRIDE 2021

今年は川越・最明寺からオンライン配信！『SAITAMA RAINBOW PRIDE 2021』

3月6日に県内最大のLGBTQイベント「SAITAMA RAINBOW PRIDE 2021」がオンライン配信で開催されました。

昨年は県内初のレインボーパレードも開催しましたが、今年はコロナ禍のため「虹色の式典～第5回LGBT成人式～」のオンライン配信を行いました。

本イベントは、性別やセクシュアリティ、人種、年齢、信条を問わず、埼玉県内で暮らす全ての人のプライドが尊重され、「成」りたい「人」になる事を参加者全員で祝福し合うことを目的にしています。



プログラムは、県内のLGBTQ当事者らによる「成人のことば」や「20歳の私への手紙」のほか、タレントのりゅうちえるさんをスペシャルゲストに迎え、「成りたい人になる」をテーマに、特別企画等を組みました。

また、大野埼玉県知事に加え、初めて田村埼玉県議会議長や小谷野自民党埼玉県連幹事長など、各政党の代表者も動画による祝辞や祝電を寄せてくださいました。

この場を借りて、イベントを支えて下さった協賛企業や団体、関係者の皆様に感謝を申し上げます。

## “Rainbow SAITAMA”リーフレットできました



キリン福祉財団の助成を受け、レインボーさいたまの会の紹介リーフレットを作成しました。会の概要のほか、LGBTQ/SOGIの基礎や相談窓口一覧も掲載しています。公的機関や企業での設置にご協力頂ける方は、役員までご一報ください。以下のURLからもダウンロードが可能です。

■紹介リーフレット

<https://rainbow-saitama.org/membership/>



# 第1回にじいろシネマ 「I Am Here —私たちは ともに生きている—」

(令和3年度さいたま市男女共同参画推進センター公募型共催事業)



レインボーさいたまの会は、令和3年度さいたま市男女共同参画推進センター公募型共催事業として「にじいろシネマ」(4回シリーズ)を開催いたします。

「にじいろシネマ」は、LGBTをテーマとした映画鑑賞会です。第1回は東京ドキュメンタリー映画祭2020・短編部門でグランプリを受賞した『I Am Here —私たちはともに生きている—』

を上映します。上映後には、浅沼智也監督のお話や参加者同士で感想を共有することで、映画が問いかけるテーマについて理解を深めます。映画を通じて性的少数者に関する課題に接し、かれらの問題を「自分ごと」として捉えることを目標とします。性的少数者を取り巻く社会問題だけでなく、よりよい地域社会をつくることに関心のあるみなさまのご参加をお待ちしています。



トランスジェンダーも  
そうでない人も、  
今も昔もずっとともに生きている。  
自分達は特別な存在ではない。  
今、私たちが伝えたいこと。

- 日時 5月22日(土)14:30～ オンライン開催
- 内容 『I Am Here —私たちはともに生きている—』  
監督 浅沼智也(2020年製作/60分/日本/ドキュメンタリー)  
公式ウェブサイト <https://iamhere-trans.jp>  
※上映後、浅沼智也監督を招いたトークセッションがあります。
- 対象 関心ある方
- 参加費 【割引前売りチケット】 【当日チケット】  
一般：1200円 ※当日正午までのお申し込み  
学生：500円 1500円  
障がい者手帳をお持ちの方：無料 (区分の設定なし)  
レインボーさいたまの会会員：1000円
- お申し込み 以下のURL、もしくは、QRコードからお申込みください。  
<https://nijiirocinema-210522.peatix.com/>
- お問い合わせ レインボーさいたまの会  
メール: [event.rainbowsaitama@gmail.com](mailto:event.rainbowsaitama@gmail.com)



\*第2回の上映方法については、社会情勢を鑑み、1ヶ月前までに当会ホームページ・SNS等でご案内します。

## ～ワタシのつぶやき～

代表【加藤岳】



会の活動をしていると「本業でも、当事者でもないのに、なぜボランティア活動を続けているのですか」という質問をよく投げかけられ、戸惑うことがあります。皆様も何かご縁があり会員になって下さっていると思いますが、きっかけは何だったのでしょうか？私は「トランスジェンダーの弟がいるから」「困っている人を助けたいから」活動をしているわけではありません。ただ、当たり前のことが当たり前になっていない社会を知ってしまったので、それを見過ごすような大人にはなりたくないなと思い活動をしている気がします。

事務局次長【大澤】



長い間、自分の人生だけを見つめてきました。ごく近い人以外にはずっとクローズドだった私が「お役に立つなら少しだけ…」と当会の要望書提出に参加したのをきっかけに、あれよあれよという間に引きずり込まれ(笑)露出する機会が増えている今。この変化に驚きながら、でも楽しんでいる自分がいます。変化や流れを楽しみながらその一部になり、一部になることで新たな変化や流れを作っていく。水のように風のように、今はこの社会の様々を見ていきたいと思っています。

顧問【池田宏】



埼玉には新座市、富士見市と暮らして小学校からサラリーマン時代まで、お世話になりました。今はパートナーの勤務の関係でソウルと新宿区を行き来する生活です。1990年代に自分らしく生きるには欧米人と一緒になって日本を出るしかないと思い、「外専」(死語)にいそしみました。懺悔のしるしとして(?) LGBT法連合会で4年活動し、今はマリフォーとレインボーさいたまの会に奉公する毎日です。ニュージーランドで結婚しても、パートナーには今も在留資格も無い。これを織り込んで人生設計をせざるを得なかったことが怒りの原点です。

🍀🍀🍀🍀 編集後記 🌸🌸🌸

1年に亘り、ニュースレターを発行して参りました。年に4回だけの特別な時間。LGBTQ+の当事者に話を聞いてみたり、アライの方との交流も持てたりして1年様々なことがありました。情報量は決して多くはありませんでしたが、また今年度も様々な情報をお届けできるようにしていけたらなーと思っています。新型コロナにより、対面での交流ができない分、Zoomを使って毎月第2土曜 20:00～21:30「レインボーおしゃべり会」を開催しております。和気藹々とした雰囲気でのんびりお話しているので、是非そちらもご参加くださーい。1年間ありがとうございましたー。また7月24日虹の日にお会いしましょう♪

Toshi 🌈🌟